

2022年10月7日



報道関係者各位

海と日本プロジェクトin愛知県実行委員会

人気芸人テツandトモと一緒に海洋ごみ問題について学ぶ

ESD教材授業を開催しました！

2022年9月8日(木) 名古屋市立神宮寺小学校

2022年9月22日(木) 名古屋市立港楽小学校

海と日本プロジェクトin愛知県実行委員会は、2022年9月8日(木)名古屋市立神宮寺小学校、9月22日(木)名古屋市立港楽小学校でESD教材を使用して海洋ごみ問題について学ぶ授業を実施いたしました。

このイベントは、日本財団が推進する海洋ごみ対策プロジェクト「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催するものです。



## イベント概要

・開催概要: 名古屋市立の小学校4年生を対象とし、ESD教材を使用した”海洋ごみ問題について学ぶ”授業

### <授業1>

・日程: 2022年9月8日(木)

・開催場所: 名古屋市立神宮寺小学校

・参加人数: 39人(小学4年生)

### <授業2>

・日程: 2022年9月22日(木)

・開催場所: 名古屋市立港楽小学校

・参加人数: 41人(小学4年生)

・監修: 公益財団法人 名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館、八千代エンジニアリング株式会社

・協力団体: シーホース三河株式会社、豊通ファイティングイーグルス株式会社、株式会社名古屋グランパスエイト、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社

・後援: 名古屋市教育委員会

**ごみを減らすにはどうしたらいいの?**

**キーワードは5R**

**普段の生活のなかで意識し続けることが大切です**

5Rとは、英語のRから始まる5つの行動のこと。資源を大切にすることでごみを減らすことにつながる行動です。どれも簡単なことばかりですが、つい忘れてしまいうことも、一人ひとりの心が大切です。

<p><b>リデュース (Reduce)</b></p> <p>使う資源や、ごみの量を少なくすること</p> <p>ものを買い過ぎない、食べ残さない、詰め替え製品を使う</p>	<p><b>リユース (Reuse)</b></p> <p>ものを繰り返し使うこと</p> <p>着なくなった服を誰かにかけて使ってもらおう</p>	<p><b>リサイクル (Recycle)</b></p> <p>資源として再利用すること</p> <p>ごみを正しく分別して資源として再利用する</p>
<p><b>リフーズ (Refuse)</b></p> <p>ごみ元となるものを拒否すること</p> <p>レジ袋を断ってマイバッグを使う、いらぬものはもらわない</p> <p><b>レジ袋 いりません</b></p>	<p><b>リペア (Repair)</b></p> <p>修理して使う</p> <p>壊れてもすぐには捨てず修理して使う</p>	<p>「ほらいいやつ、愛さないで、捨ててはダメだよ。」</p>

**海を汚さないために、他に気づいた方がいいことって?**

**家庭から流す生活排水にも気づきましょう**

海のごみ以外に、水質の汚れの問題もあります。かつては工場排水が一番の原因でしたが、法律の規制などがすすみ、今は水を汚す原因の約70%が家庭から流している生活排水なのです。いちど汚れてしまった水をきれいな海に届かせるのは、とても大変。浴槽の排水溝には食べ残しや箸を捨てない、シャンプーや洗剤などを使わずに済ませるなど、小さな心がけが大切です。

**愛知の海が、ややにあってます!!**

**愛知の海に 愛知県 CHANGE FOR THE BLUE**

主催: 海と日本プロジェクト in 愛知 県民実行委員会 CHANGE FOR THE BLUE  
 協賛: 公益財団法人 名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館 八千代エンジニアリング株式会社  
 協力: シーホース三河株式会社・豊通ファイティングイーグルス株式会社・株式会社名古屋グランパスエイト・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社  
 後援: 名古屋市教育委員会

**海のごみって どうすれば減らせるの?**

**みんなで考えよう**

**×リ夫**  
三河湾出身、1歳になったばかりのスマメリの男の子。  
テレビ鑑賞

**リードくん**  
11月21日生まれ、元気な雛のいたずらっ子。好きな食べ物は手羽先。  
CF

**カイオー**  
2001年11月生まれ。シャツだけに、あんな素敵なものは何でも好き。  
名古屋港水族館

**シーホースくん**  
おとどめで真面目なタンノオトシコ。趣味はダンス(痴心舞)。  
Seehorse

**グランパスくん**  
10月3日生まれ。シャツだけじゃなく、縁での生活が長いので黒き方を着た。  
名古屋港水族館

**ディー・ディー (DD)**  
少しおっちょこちょいだけど、優しくおっとりした性格のシロイルカ。ダンスの練習中!

**しばたさん**  
八千代エンジニアリングという会社で海や川のごみ問題について取り組んでいます。  
海のごみについて、みんなで学びましょう!

**海にごみがあふれて困っているなかがいるよ。どうすればいいのかな?**

**海ごみ持ちのぞくが みるみる減るよ**

## 海のごみってどんなものがあるの？

**プラスチックごみが一番多く、やっかいです**

海のごみで一番多いのは、プラスチックごみ。毎年、約800万トンのごみが海洋に流出しているといわれています。プラスチックごみは素材の特性上、海中で留まっている期間が長く、中には400年以上を漂うものもあるそうです。他に、木材や腐った自然物、ガラス、金属などがあります。このままでは、2050年には海にいる魚よりごみの方が多くなるほど深刻化しています。

年間 **800万トン** のプラスチックごみ = **ジャンボジェット機 8万台** 分

「海の環境問題についての原案『エコ・アクアリウム』」

海の環境問題やプラスチックごみと生物の関係などを解説しています。海洋に漂着したゴミガムの中から取り出したプラスチックごみや、感知器内の画像で録画したマイクロプラスチックの実物も顕微鏡で観察することができます。名古屋港水族館で海の生き物たちとふれあった後は、海の環境問題についても考えてみましょう。

## どこで、どんなごみが生まれているの？

**山、海、市街地それぞれで、ごみの種類に特徴があります**

ごみは基本的に人間が出すものですが、場所によってごみの種類が変わってきます。海や山が多い自然豊かなエリアでは、農業で使う道具や肥料の袋などがごみに、海の周辺では農業で使う網や釣り糸などがごみに、市街地ではペットボトルやお菓子の包装、最近ではマスクのごみが目立ちます。どれも元々は私たちの生活に必要なものなので、海へ流れていってしまうのはうしろさしかりと捨てることや、ごみを見つけたら拾うことが大切です。

**山間部**、**海岸部**、**市街地**

## 一番多い「プラスチックごみ」ってどんなもの？

**身のまわりにたくさんある、食品や飲料の容器などがあります**

私たちのまわりでよく見かける、ペットボトルやレジ袋、食品が入っていた空き容器などです。資源物の調べによると、毎年海に流れ出るプラスチックごみのうち、2~6万トンが日本から産出したものと推察されています。海の生物たちへの影響が特に深刻で、例えばミナミガメはレジ袋を好物のクラゲと間違えて食べてしまうことが、また「マイクロプラスチック」と呼ばれている、細かくなったプラスチックの粒を魚たちがエサと一緒に食べてしまうこともあります。その魚を人間が獲って食べている...と考えると、私たちにとても大きな問題になるかもしれません。

プラスチックは食べてもおいしいじゃない？

ごみ処理場にあるごみ箱をカラスなどが壊り、ごみが散らばって流れてしまうことがあります。ごみ箱に捨てたごみの収集が適切で、あふれ出てしまうことがあります。

## どうして陸上のごみが海へいっちゃうの？

**街で捨てられたごみが、川などから流れ込みます**

海のごみは、大半が陸上からやってくる。街で捨てられたごみが川に流れだし、やがて海へとたどり着くのです。ごみは大きく分けて「投棄・ほい捨て系」と「漏洩系」の2つに分類されます。「投棄・ほい捨て系」とは、ごみ箱以外の場所(路上や川、水路など)に捨てられたごみのこと。「漏洩系」とは持ち物の裏面からごみ箱からあふれ出てしまったごみのこと。モラルの低下が原因なのもあるけれど、ごみ処理場のごみ袋をカラスが壊ってしまうなど社会的な仕組みが原因でごみが出てくることもあります。

**ごみ流出の原因例**

ごみ処理場にあるごみ箱をカラスなどが壊り、ごみが散らばって流れてしまうことがあります。ごみ箱に捨てたごみの収集が適切で、あふれ出てしまうことがあります。

## RIADってなに？

RIADとは、カメラで撮影した川の動画から、プラスチックごみが流れている箇所をはかることができるシステムのこと。海のプラスチックごみは、その8割が川から海へと入りこんでいるのですが、RIADを使えばどのくらいのごみがどの川から入りこんでいるのかわかるようになります。

川を流れるごみの量が分かれば、掃除などの取り組みで、ごみを減らせるね。

### テレビ愛知のエコキャンペーンキャラクター「メリ夫くん」登場

授業の冒頭、司会のフリーアナウンサー菊池 優さんと一緒に登場したのは、テレビ愛知エコキャンペーンキャラクターのメリ夫くん！

2004年から「うみをきれいにしたいメリ」と愛知県内の幼稚園・保育園を廻って「メリおっと！たいそう」を踊っているテレビ愛知エコキャンペーンのマスコットキャラクターメリ夫くんは、三河湾出身で1歳になったばかりのスナメリの男の子。海が濁っていたためお母さんとはぐれてしまい迷子になったという生い立ち。メリ夫くんの登場に、生徒たちからは「なつかしい！」などの歓声が上がりました。菊池アナウンサーから、1年間で海に流れ出るごみが800万トンで、ジャンボジェット機に例えると5万機分ということをお話すると、生徒たちは驚いていました。



## ESD教材の動画を鑑賞

授業の中で、ESD教材を全員で観ました。映像内容は海洋ごみやマイクロプラスチックが海の生き物たちに与える影響についてと、ごみを減らすためにできる5R活動についてです。生徒にとって、自分たちがどんなアクションを起こしたらいいかを考えるきっかけになりました。



## スペシャルゲスト「テツandトモ」の登場で大盛り上がり！

スペシャルゲストで「テツandトモ」が登場！生徒たちは大盛り上がりでした。

お馴染みの「なんでだろう〜？」のネタを海と日本プロジェクトver.でやっていただき、生徒たちは楽しく海洋ごみについて学ぶことができました。

名古屋港水族館の加古さんにも登壇していただき、スナメリについてお話していただき、生徒たちからたくさんの笑顔を見ることができました。



フットボールを通じて学習やスポーツの魅力を体感することができるプログラム

### 「MY FOOTBALL KIT」を寄贈

株式会社seryから生徒たちへ「MY FOOTBALL KIT」が寄贈されました。

「MY FOOTBALL KIT」は、社会貢献を考えている企業、団体がすべての生徒たちへ組み立て式サッカーボールを贈ることで、SDGsに掲げられた目標4「質の高い教育」と目標12「つくる責任・使う責任」に貢献するプログラムです。生徒たちは、「楽しく考えながらキットを組み立て、遊び、壊れたらまた自分で直す」といった過程を通して、豊かな思考を培っていきます。

授業では、本キットの素材の原料や海洋ごみの問題について考えました。



### <団体概要>

団体名称 海と日本プロジェクトin愛知県実行委員会

URL [https://tv-aichi.co.jp/aichi\\_uminohi/](https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/)

活動内容 愛知県を放送対象地域としたテレビ放送を行う。



## CHANGE FOR THE BLUE

国民一人ひとりが海洋ごみの問題を自分ごと化し、“これ以上、海にごみを出さない”という社会全体の意識を向上させていくことを目標に、日本財団「海と日本プロジェクト」の一環として2018年11月から推進しているプロジェクトです。産官学民からなるステークホルダーと連携して海洋ごみの削減モデルを作り、国内外に発信していきます。

<https://uminohi.jp/umigomi/>



## 日本財団「海と日本プロジェクト」

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、時に心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、子どもたちをはじめ全国の人が「自分ごと」としてとらえ、海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、オールジャパンで推進するプロジェクトです。

<https://uminohi.jp/>

### お問い合わせ先

団体名:海と日本プロジェクトin愛知県実行委員会 担当者名:テレビ愛知 東京支社営業部 伊藤稔  
電話:03-3595-3310 メールアドレス:ito-m@tv-aichi.co.jp